

子どもの保険証とりあげ 止めさせました

井上ひさ子市議が 代表質問

第3回定例市議会（9月22日～11月7日）で日本共産党は、井上ひさ子議員が代表質問に立ち、子どもの保険証問題のほか、バス路線問題、石油製品の値上げにともなう諸問題、障がい者交通費助成制度の見直し、介護と国保、後期高齢者医療制度、非正規雇用の問題などについて質問しました。

国保の資格証交付世帯でも

18歳未満の子どもに

一年間有効の保険証交付に

日本共産党は、札幌市が国民健康保険の保険料を払えない世帯の子ども984人から保険証を取り上げて

いることについて、「親が様々な理由で保険料を滞納していても、子どもの診療権を奪うべきでない」と指

摘し、すべての子どもに無条件で保険証を出すようもとめました。

上田市長は、定例市議会直後の11月11日、記者会見で、「親の保険料納入の状況に関係なく、18歳未満のすべての子どもに一年間有効の保険証を交付する」と述べました。



市政について話し合う、上田市長と共産党市議団

日本共産党が
07年から再三
実施を求めて
実現



12月、1月号外

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所内
TEL:011-211-3221 FAX:011-218-5124
<http://www.jcp-sapporo.jp/>

発行/日本共産党札幌市議会議員団

日本共産党札幌市議団の活動と見解を紹介します

市民の暮らしと福祉・営業を守る市政に

「札幌市子どもの権利条例」が可決しました

広範な市民から要望されていた「札幌市子どもの権利条例」が可決しました。日本共産党は、条例制定は子どもが置かれている困難な状況の改善のために必要と、早期の可決を求めています。



市民団体との市政懇談会

女性監禁事件をくり返さないため 児童相談所の体制強化を

札幌市では、実母による児童虐待が多いことを指摘し、国の基準より3人も不足している児童福祉司の増員と、非常勤の心理判定員や児童心理司、里親対応専門員を正職員にするよう求めました。市内の女性が小学校2年生から19歳まで自宅に監禁されていたとの事件が明るみに出ており、児童相談所の体制強化はますます急がれています。



岩村米子市議の急逝で 市議会議長、市長らが追悼の辞

日本共産党の岩村米子市議会議員が11月21日病气のため急逝しました。

故岩村米子市議の業績を偲んで、上田文雄市長が27日の市議会本会議で、「平和と人権・民主主義の実践者として、暮らしの中に憲法を生かす市政を求めて御活躍されたことに深く敬意を表する」と、29日の「お別れの会」では、畑瀬幸二市議会議長が「医療・介護の専門家として活躍した有能な岩村議員を失ったことは札幌市にとってはかり知れない損失」と哀悼の言葉をのべました。井上ひさ子日本共産党札幌市議団長は、「お別れの会」で、「故岩村市議の活動を支えていただいたみなさんに心からお礼を申し上げますとともに、故人の遺志を受け継いで奮闘する決意です」と述べました。



上田市長に福祉灯油実施を求める共産党市議団

市議会では、昨年度は日本共産党だけが条例提案した「福祉灯油」を、今年是他党も代表質問で要求し、実施を求める議員が議会で多数になりました。国は、「市町村が実施した場合は、半額を特別交付税で支援する」としています。日本共産党は、「今年こそ福祉灯油の実施を決断すべき」と上田市長に迫りました。

過半数の議員が実施を要求

福祉灯油は、昨年度、道内での未実施は、札幌市を含む4自治体だけになりました。青森、岩手、宮城、秋田、山形では、すべての市町村で実施しています。

北海道で未実施は4自治体のみ

「今年こそ福祉灯油の実施を」

と求めました

官製談合の徹底解明と根絶へ

市幹部の天下り禁止を

公正取引委員会が、市の発注した工事を官製談合と断罪しました。日本共産党は、「市長が八月に『官製談合でない』と結論付けたのは問題」と指摘するとともに、「指定登録業者への天下りを全面的に禁止すべき」と求めました。

バス路線の維持に向け提案

- バス会社が一方的に路線を廃止しないよう
- ① 住民と市、バス事業者が話し合う協議会をつくる
 - ② 「廃止表明」が条件になっている補助金制度を改善する
 - ③ バス路線廃止自由化の凍結を国に要請する
- などを求めました。

市民要求実現へ各議員が奮闘



井上 ひさ子

希望者全員が入所できるよう保育所の増設を求めました

今年4月に保育所に入所を希望した児童のうち、271人が入所できませんでした。希望する児童全員が入所できるよう、市が保育所の増設を急ぐよう求めました。



宮川 潤

子どもの保険証取り上げをやめさせました

国民健康保険料を滞納して保険証が取り上げられている世帯であっても子どもの保険証は出すべきと昨年からの繰り返しとりあげ、ついに札幌市を動かしました。



坂本 きょう子

児童虐待を防ぐ体制強化を求めました

北区で起きた女性虐待問題は、住民に衝撃を与えました。児童虐待の実態調査と児童相談所の体制強化を求めました。また、環境問題で公共施設での壁面緑化に旺盛に取り組むことを約束させました。



伊藤 りち子

バス路線を守る地域協議会の設置を求めました

中央バスが白石・厚別区の路線廃止届けを出したことに端を発したバス路線問題で、住民の方々とともに存続を求め、継続運行が決まりました。引き続き路線を守る地域協議会の設置などに力を尽くします。



村上 仁

地下鉄ホームの可動式柵設置が好評です

障がい者団体と共産党市議団の要求で実現した地下鉄ホームの可動式柵設置がすすみ、小さな子どもさんやお年寄りにも好評です。09年3月迄に東西線の全ホームに、5年後に南北線、更に5年後に東豊線に設置されます。

ご相談は日本共産党札幌市議団と市政事務所に

日本共産党札幌市議団	〒060-8611	中央区北1条西2丁目	札幌市役所内	☎ 211-3221	FAX 218-5124
手稲区	井上ひさ子	〒006-0814	手稲区前田4条11丁目9-25	☎ 684-4533	FAX 684-4534
東区	宮川潤	〒007-0806	東区東苗穂6条2丁目10-20 手塚ビル2階	☎ 783-5466	FAX 783-8381
北区	坂本きょう子	〒001-0023	北区北23条西3丁目2-55	☎ 738-9550	FAX 738-9551
白石区	伊藤りち子	〒003-0833	白石区北郷3条4丁目1-38	☎ 875-9174	FAX 875-9285
厚別区	村上仁	〒004-0022	厚別区厚別南2丁目6-2	☎ 894-4616	FAX 895-1135